平成19年3月27日

学会員各位

日本バイオセーフティ学会 理事長 倉田 毅

学会からのお知らせ

本年度、第7回日本バイオセーフティ学会総会・学術集会を平成19年11月に小松俊彦学会長(NPO バイオメディカルサイエンス研究会)のもと、東京にて開催いたします。集会形式として、日本バイオセーフティ学会として取り組むテーマ毎にセッションを設け、講演会を行なう予定です。また、会員からの演題募集による研究発表を行ないます。ふるってご応募ください。

募集演題分類項目:

- 1. 安全管理全般 (安全管理運営、教育·研修、病原体輸送、感染性廃棄物他)
- 2. 病院・検査室バイオセーフティ
- 3. 動物バイオセーフティ
- 4. 安全装置、器具(安全キャビネット他)
- 5. 施設設計(実験室、病院検査室他)
- 6. 消毒・滅菌全般
- 7. その他

演題募集の締め切りは**平成19年8月中旬**を予定しております。多数の会員の参加をお願いいたします。会期、会場等詳細についてはできるだけ早く、学会からのお知らせでご連絡いたします。

理事選挙

第6回総会報告にありますように、2007年度には理事の半数改選(4名)選挙があります。倉田毅、小松俊彦、岩本愛吉、杉山和良(2004-2007年度理事)理事が退任いたします。8月頃に投票用紙の発送を行うことになりますが改めてご案内いたします。

学会費納入

学会員におかれましては 2007 年度(1月-12月)の年会費 5,000 円 (正会員)、30,000 円 (賛助会員)をご納入くださいますよう宜しくお願いいたします。

なお、入会金 1,000 円、2006 年度までの正会員年会費 5,000 円及び賛助会員年会費 30,000 円を未だ納入していただいてない会員の方はご納入くださいますようお願いいたします。 納入に際しましては同封の「払込取扱票」にてご納入ください。

第2回アジアパシフィックバイオセーフティ(A-PBA)学会年次会議

3月5日から8日までアジア太平洋バイオセーフティ学会がシンガポールにて開催されました。5日、6日の両日は「BSL3実験室の建設」、「実験施設のリスクマネジメント」、「バイオセーフティの視点からの実験施設設計とエンジニアリング」、及び「緊急事態への準備と対応」の4種類のテーマについて、事前登録による小グループでのセミナー形式の訓練コースが実施されのべ300人強が参加しました。

続く年次総会では、シンガポール、インドネシア、ベトナムを始めとしたアジア各国とスウェーデンや米国などおよそ 20 ヵ国から 400 人を超える参加があり、「新興感染症および危機」として鳥インフルエンザや先の実験室事故を踏まえたシンガポール保健省の取り組み、「モバイル施設」として患者の搬送や可動式剖検施設、WHO 本部のバイオセーフティ部門の責任者のプレヴィザニ博士により「WHO の最近の活動」、米国、欧州、アジア太平洋、日本のそれぞれのバイオセーフティ学会代表者により「世界各国におけるバイオセーフティの活動と現状」、「除染方法の発達」として過酸化水素および二酸化塩素ガスによる滅菌法などについて講演及び報告がありました。また、このほかにポスター展示により訓練プログラムなどの紹介がなされました。

台湾バイオセーフティ協会、中国CDCバイオセーフティ担当者、ベトナム、インドネシア、韓国、ブルネイ、ミャンマー、タイなどのバイオセーフティ担当者が参加しており意見交換とアジア地域の実務者の連携が図れ、有意義でした。次回の同会議はバンコクでの開催が予定されています。他のバイオセーフティ学会においても、学会組織の協力連携を強化し、相互の情報交換のためおよびそれぞれの広報活動も含め、少なくとも1名の代表者を各年次総会へ派遣しています。JBSAも今後このような場において、積極的にその歴史と取り組み状況を発信してゆくことが求められています。

第4回バイオセーフティシンポジウム

「感染症法の改正」 について企画中です。 詳細は学会からのお知らせでご連絡いたします。

新規会員

2名 (別添資料)

学会開催案内

第7回日本バイオセーフティ学会総会・学術集会

学会長 小松俊彦学会長 (NPO バイオメディカルサイエンス研究会)

会期: 平成19年11月

会 場: 未定(東京)

参加費: 会員 10,000 円 非会員 12,000 円予定

懇親会: 未定

第10回ヨーロッパバイオセーフティ(EBSA)学会年次会議

会期:2007年3月末

場所:ハイデルベルグ、ドイツ

http://www.ebsa.be/

アジア実験室バイオセーフティ・バイオセキュリティ会議

(Asia Conference on Laboratory Biosafety and Biosecurity)

会期: 2007年4月17-19日

場所:バンコク

http://www.AsiaBiosafetyAndSecurity.org

第50回アメリカバイオセーフティ(ABSA)学会年次会議

会期:2007年10月7-10日

場所: Opryland Hotel ナッシュビル、テネシー

学会事務局: 国立感染症研究所バイオセーフティ管理室内

〒162-8640 新宿区戸山1丁目23番地1号

TEL 03-5285-1111 FAX 03-5285-1184

E-mail ksugi@nih.go.jp

www.nih.go.jp/niid/meetings/jbsa/gakkaiannai.html

新規正会員

春原伸次 株式会社ダルトン 開発本部

Sunohara Shinji DALTON CORPORATION

〒426-0009 静岡県藤枝市八幡 407-3

TEL 054-646-7141 FAX 045-646-7092 Email s-suohara@dalton.co.jp

高橋千成株式会社ダルトン技術第一部第三課

Takahashi Chinari DALTON CORPORATION

〒426-0009 東京都新宿区市谷佐内町 9

TEL 03-3513-1366 FAX 03-3267-2156 Email c-takahashi@dalton.co.jp